

平成30年度 全国学力・学習状況調査結果

4月に全国の6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、本校における結果の概要についてお知らせします。この調査結果は6年生の結果ではありますが、他学年にも共通する学校全体の結果として捉え、今後の指導改善に生かしていきます。

なお、文部科学省からも連絡がありました。今回の調査結果は児童の学力の特定の部分であることを踏まえてご覧ください。

児童質問紙については、旭小学校と全国の調査結果を比較し、差異をポイントでお伝えします。



【調査の内容】

①教科に関する調査

小学校第5学年までに含まれる指導事項

国語A・算数A

身に付けておかなければ後の学年等の内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など（主として「知識」に関する問題）を中心とした出題

国語B・算数B

知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容（主として「活用」に関する問題）を中心とした出題

理科

主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に出題

②学習・生活の様子に関する調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問



児童質問紙 ～学習・生活の様子に関する調査～

全国と比較して肯定的な回答が多かった質問項目

○家庭学習に関する質問

- ・家で、学校の宿題をしていますか。⇒（肯定的な回答）100% +2.9pt
- ・家で、学校の授業の予習・復習をしていますか。⇒（肯定的な回答）+20.1pt
- ・家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか。⇒（肯定的な回答）+21.4pt

○学校生活・学習に関する質問

- ・算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか。⇒（肯定的な回答）+10.8pt
- ・算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか。⇒（肯定的な回答）+10.9pt
- ・理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか。⇒（肯定的な回答）+10.7pt
- ・理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか。⇒（肯定的な回答）+16.2pt
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。⇒（肯定的な回答）100% +3.2pt



○家庭生活に関する質問

- ・家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか。⇒（肯定的な回答）+10.8pt

全国と比較して肯定的な回答が少なかった質問項目

○学校生活・学習に関する質問

- ・算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。⇒（否定的な回答）+10.1pt

○家庭生活に関する質問

- ・今住んでいる地域の行事に参加していますか。⇒（否定的な回答）+25.9pt
- ・地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか。⇒（否定的な回答）+14.8pt





旭小学校の傾向（考察）

家庭学習（宿題・自主学習）に取り組んだり、授業において自分の考えをもち、諦めずに課題に向かったりしている。しかし、活用力を身に付けるための手立てが必要である。また、いじめはいけないことだと思っている子どもが多く、日常の姿からも思いやりの心を大切にしている子どもが多い。

放課後や休日は、家族や友達との時間を大切にしている子どもが多い中、習い事等で忙しく過ごしている子どもも少なくない。総合的な学習の時間や生活科では、どの学年も子どもたちと地域社会との関わりを大切に活動を取り入れているが、子どもたちの生活が忙しくなっている中で、今後も保護者・地域・学校が一体となって子どもたちの成長を見守っていく必要がある。

本校6年生の調査結果と課題及び改善の方向

	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
国語	<p>【区分及び領域】</p> <p>主として「知識」に関する問題 (A)</p> <p>◇「話すこと・聞くこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。 <p>◇「書くこと」「読むこと」「言語事項」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均を上回っている。 <p>主として「活用」に関する問題 (B)</p> <p>◇「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての領域において、全国平均を上回っている。 <p>・(A)(B)ともに、全体的に無回答率が全国平均よりも下回っている。</p> <p>※問題(B)においては、「伝統的な言語文化と国語の性質に関する事項」の設問はありません。</p> <p>※「言語事項」→「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の略</p>	<p>●目的や意図に応じ、複数の本や文章などを選んで読んだり、内容の中心を明確にして詳しく書いたりすること。</p> <p>●相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話すこと。</p> <p>●計画的に話し合うために、司会の役割について捉えること。</p> 	<p>○国語科だけでなく他教科の学習においても、目的や意図に応じた本や資料を選んで読んだり、その中から適切な内容を取り上げて書いたりすることができるように指導していきます。</p> <p>○学習時間をはじめ、委員会・クラブ・異年齢交流等の様々な活動の中で、相手や目的・場面・状況に応じて、言葉を置き換えたり、内容や順序を考えたり、相手の理解の状況などを確認しながら話すことができるように指導していきます。</p> <p>○学級や学年、児童会活動などで話し合い活動の場を多く経験させていきます。また、子どもが司会者や提案者などを経験する中で、話し合いの目的に応じた進行の仕方を学んでいけるように指導していきます。</p>
算数	<p>【区分及び領域】</p> <p>主として「知識」に関する問題 (A)</p> <p>◇「数と計算」「図形」「数量関係」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均を上回っている。 <p>◇「量と測定」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。 <p>主として「活用」に関する問題 (B)</p> <p>◇「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての領域において、全国平均を上回っている。 	<p>●折り紙の輪の色の規則性を解釈し、それを基に条件に合う色を判断すること。</p> <p>●棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断すること。</p> <p>●除法で表すことができる二つの数量の関係を理解すること。</p> <p>●180° や 360° を基に分度器を用いて、$180^\circ \times \frac{12}{408}$ よりも大きい角の大きさを求めること。</p> 	<p>○日常生活の算数的な事象を観察して、規則性を見出し、変化や対応の関係を基に、条件に合う事柄について既習を生かして適切に判断できるように指導していきます。</p> <p>○目的に応じてグラフを作り、複数のグラフを関連付けて考察することができるよう指導していきます。また、他教科の学習においてもグラフを活用し、学びを深めていきます。</p> <p>○2つの数量の関係を実感的に理解するために、2つの数量の関係を図や数直線等に表すことができるよう指導していきます。</p> <p>○「量と測定」の学習において、大きさの見当を付けたり、測定の仕方を考えたり、実際に測定したりする等、各活動を関連付けて正しく測定できるよう指導していきます。</p>
理科	<p>【区分及び領域】</p> <p>◇A区分「物質」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る。 <p>◇A区分「エネルギー」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均を下回っている。 <p>◇B区分「生命」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。 <p>◇B区分「地球」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均とほぼ同程度である。 <p>主として「知識」に関する問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均を上回っている。 <p>主として「活用」に関する問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。 	<p>●電流の流れ方について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想すること。</p> <p>●人の腕が曲がる仕組みを模型に適用すること。</p> <p>●物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用すること。</p> <p>●骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念を理解すること。</p> <p>●乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることを実際の回路に適用すること。</p> <p>●より妥当な考えをつくりだすために、実験結果を基に複数の情報を関係付けながら、分析して考察し、その内容を記述すること。</p>	<p>○実験の結果に対して自分の予想や仮説を立て、それらを基に実験の仕方考える場を設け、見通しをもった解決につなげていきます。</p> <p>○学んだことを自然の事物・事象に適用できるようにするために、既習の内容や生活経験と関連付けて考える場を設定していきます。</p> <p>○科学的な言葉や概念を理解することができるようにするために、言葉の意味を的確に捉えさせ、学習した内容を科学的な言葉に置き換えて説明する場を設定していきます。</p> <p>○学んだことを基にもものづくりができるようにするために、ものづくりの目的を理解し、既習の活用方法を考えられるよう指導していきます。</p> <p>○実験結果について話し合い活動等を通して情報を収集し、その情報を関連付けながら多面的に分析し、考えをまとめ活動を取り入れていきます。</p>